

神戸大学分子フォトサイエンス研究センター研究会・
第5回広帯域極限電磁波生命理工連携研究会
「光エネルギー変換の最先端と展望」

日時：2023年12月19日(火) 13:00～

場所：神戸大学 理学部 Z201・202 室

共催：神戸大学カーボンニュートラル推進本部

神戸大学分子フォトサイエンス研究センター、福井大学遠赤外領域開発研究センター、徳島大学ポストLEDフォトンクス研究所、神戸大学バイオシグナル総合研究センターの4研究施設は、マイクロ波から紫外におよぶ帯域の新規な光源と先端的計測手法の開発、それを用いた様々な分野での応用研究について連携活動を行っています。本研究会はその連携活動の一環として行っており、今回は、神戸大学分子フォトサイエンス研究センターが主催します。光エネルギー変換は、太陽電池や光触媒の開発に代表されるように、カーボンニュートラルの実現に向けて有効かつ重要な一つの手法です。光エネルギー変換関連分野の最先端でご活躍の研究者の方をお招きし、最新の研究成果を紹介していただくとともに、今後の展開について議論します。参加希望の方は、下記、問い合わせ先までご連絡下さい。要旨集をお送りします。また、オンライン参加も可能ですので、あわせてお問い合わせください。

問い合わせ先：立川貴士（神戸大学分子フォトサイエンス研究センター・教授）

tachikawa@port.kobe-u.ac.jp

プログラム

はじめに 立川 貴士 (神戸大学分子フォトサイエンス研究センター・教授)

座長： 立川 貴士 (神戸大学分子フォトサイエンス研究センター・教授)

13:05～13:35 鈴木 肇 (京都大学大学院工学研究科・助教)

「時間分解マイクロ波伝導度測定を活用した水分解用光触媒の開発」

13:35～14:05 小林 厚志 (北海道大学大学院理学研究院・准教授)

「水素生成と化成品合成を同時駆動する光レドックスカスケード触媒」

14:05～14:35 南本 大穂 (神戸大学大学院工学研究科・講師)

「高効率可視光エネルギー変換に向けたプラズモニック光電変換系における電荷移動過程の解明」

14:35～15:05 羽田 真毅 (筑波大学数理物質系・准教授)

「光化学のための超高速構造ダイナミクス計測」

15:05～15:20 休憩

座長： 小堀 康博 (神戸大学分子フォトサイエンス研究センター・教授)

15:20～15:50 相澤 直矢 (大阪大学大学院工学研究科・助教)

「励起一重項と三重項のエネルギーが逆転した有機 EL 材料の開発」

15:50～16:20 五月女 光 (大阪大学大学院基礎工学研究科・助教)

「時空間分解分光で観る分子集合体中の励起子拡散ダイナミクス」

16:20～16:50 古部 昭広 (徳島大学ポスト LED フォトニクス研究所・教授)

「WS₂-Au ナノハイブリッド光触媒の作製とキャリアダイナミクス」

おわりに 富永 圭介 (神戸大学分子フォトサイエンス研究センター・センター長)